

リリース ノート

内容

特長	1
Pirouette 5.0 の新機能	2

このノートには、Pirouette の現在のリリースに関する情報が記載されており、通常のドキュメントに含まれる情報を補足しています。作業を開始する前に、このドキュメントをお読みください。

機能

このバージョンでは、Pirouette の特徴である使い慣れた一連の機能の改善が含まれます。

- オブジェクトマネージャが常に存在し、計算結果やデータ表示に素早くアクセスできます。
- 複数のアルゴリズムとサブセットのリストを設定し、バッチとして処理することができます。
- 包括的なウィンドウ管理により、データおよび結果を柔軟に表示できます。
- リボン(アイコンバー)により、頻繁に使用する機能/コマンドにアクセスできます。
- マルチタスク機能により、複数の回転する3Dプロットなどが可能です。
- [Open Data] ダイアログでは、ワイルドカードフィルタ (**) により、Pirouette が認識しているすべての形式を試すことができます。ファイルの拡張子からファイルタイプがわからない場合に役立ちます。
- [Windows/Preferences] の3つのメニュー項目である Create、Delete、および Load を使用して、複数の Preference セットを操作できます。できます。
- サンプルや変数の名前には、最大 48 文字まで含めることができます。
- オブジェクトマネージャのディスクアイコンを作業領域にドラッグ & ドロップすると、すべてのサンプルと変数を含むデータセットのテーブルビューの新しいウィンドウが表示され、オブジェクトマネージャのツリーに新しいセットアイコンが作成されます。
- コピーされたグラフィックは、Windowsメタファイル(EMF)およびビットマップのTIFFフォーマットで使用できます。
- Transform には、ベースライン補正、除算/正規化、乗法散乱補正、および標準正規変量が含まれます。

- PCA、PLS、PCRの予測後、動的に因子数を変更することが可能です。因子数にリンクされたすべての結果は動的に更新されるため、これらのモデルの真の外部検証を容易にすることができます。
- すべてのアルゴリズム結果には、実行設定のリストを含むNotesオブジェクトが含まれます。このオブジェクトは、ユーザーが完全に編集可能であり、監査文書として機能します。
- Windowsエクスプローラからデータファイルをドラッグし、Pirouetteウィンドウにドロップすることで、データファイルを開いたりマージしたりすることができます。また、[Find/Search] ウィンドウからも利用できます。
- オンラインヘルプはPDFで提供され、Acrobat Readerでアクセスすることができます。Pirouetteのインストールセットには、Acrobat Readerをダウンロードするための情報が含まれています。

Reader の代わりに、Webブラウザ (Firefox または Internet Explorer等) を使用して Pirouette ヘルプ ファイルを表示することもできます。別のブラウザを代用するには、Pirouette の [Help] メニューの [Setup] 項目を使用します。PDFヘルプファイルをWebブラウザのウィンドウ内で表示できるように、ブラウザのPDFプラグインをインストールしておいてください。

Pirouette 5.0 の新機能

- ExcelのXLSX形式ファイルがサポートされるようになりました。
- バイナリ情報の保存を効率化するため、Pirouetteフォーマットファイル「PIR2」を新たに作成されました。
- 折れ線グラフは、時間範囲と強度範囲の両方でパンできるようになりました。。
- 2D散布図にLimitsダイアログが追加されました。
- Transform に「Divide by - Sample mean」オプションが追加されました。。
- クラス投影の3D散布図で、カテゴリ内のポイントの周りに超楕円が表示されるようになりました。
- 散布図には、現在アクティブになっているクラス変数に基づく追加のラベル オプションがあります。
- スクリプト言語でPirouetteを実行する機能が実装されました。
- 因子ベースのアルゴリズムが改良され、計算速度が向上しました。